

新年恒例の初市。今日10日は会津若松市の「十日市」、12日は喜多方市の「小荒井初市」、14日は会津坂下町の「大俵引き」、17日は喜多方市の「小田付初市」。皆さんはどこかの初市には行かれるのでしょうか。

それにしても今年の暖冬は、この時期これまで見たことのない風景を見せています。「十日市は荒れる。」とよく言われますが、今日も3月中旬の気温だそうです。

3学期は短期決戦！

1月8日（水）、新学期を無事スタートさせることができました。冬休みを有意義に過ごしたであろう生徒達の、さわやかな笑顔を見ることができて、とてもうれしく思いました。昨年度と同じ時期に発行した学校便りとほぼ同じ内容ですが、再度確認いただきたく、掲載させていただきます。

3学期は3年生が45日間、1、2年生が50日間の授業日数となります。1年の中で最も短い学期であり、短期決戦の学期とも言えます。この短い期間の中で、1年の締めくくりとしてのまとめと、卒業後、あるいは進級後の姿を思い描き、ステップアップするための準備を整えなくてはなりません。しかも、時間の過ぎるスピードはこれまでより速く感じられるはずですから少しの時間も無駄にせず、効率よく課題解決の努力をすることが必要になります。これは決して簡単なことではないと思われま

す。でも、だからといって、焦ったり慌てたりする必要も全くありません。時は平等に与えられているものです。インドの政治学者ガンジーも言っています。

「あなたの夢は何か。あなたの目的とするものは何か。それさえしっかり持っているなら必ずや道は開かれるだろう。」と。

(1) 生活面では・・・

- 昨年を振り返った反省や新年の自分の目標をもとにした生活をしっかりとスタートさせることが大切です。ご家庭でも見守りながら一声かけていただければと思います。保護者の皆さんもご自身の目標をふまえ、明るい未来を語り合ってほしいと思います。
- 特に3年生は規則正しい生活のリズムをしっかりと確立させることに心がけてほしいと思います。入試本番当日の日程に合わせて試験開始の時間に最も良い体と心の状態で臨めるよう、今からその習慣をつけていくことが大切です。

(2) 学習面では・・・

- 2学期の評価、評定をもとに、3学期はどんな学習に取り組むのか、どこを補っていくのかをしっかりと決めていくことが大切だと思います。ぜひアドバイスをお願いします。もちろん、各教科の先生方や担任の先生方に積極的に相談することも有効です。短い3学期はその分、逆に集中して取り組むチャンスとも考えられます。特に3年生には3年間の学習をまんべんなく振り返り、わからないところや、難しい問題を職員室の先生方に教わりに来るような姿が見られることを期待しています。
- 家庭学習のリズムを確立すると学習効率が高まります。授業やテストと同様、50分やって10分休むリズムは集中力が身につく、決められた時間内でやり遂げる精神力を養えると思います。特に3年生は受験、入試を考えた時、この集中力が大切になって来ます。入試会場の特別な場所において、平常心で臨み、普段の実力を発揮できるようにするためにも有効な方法だと思います。



大切なのはやはり心の有り様です。しっかりと自分と向き合い、目標を持ち、強い心で、この短期決戦に臨んでほしいと思います。

皆さんにとって、光り輝く1年になりますように！

3学期（1年）のスタートにあたり願うことは、生徒、保護者の皆さん、先生方が健康で元気に命を輝かせて生きることです。どうぞ、笑顔あふれる日々をお過ごしください。

例によって、始業式の式辞をもって、年頭のご挨拶とさせていただきます。

皆さん、明けましておめでとうございます。大きな事故もなく、こうして皆さんとまた、この場で会えたことを何よりうれしく思っています。冬休みはどうでしたか。お正月はどのように過ごしましたか。私は、寝っ転がってテレビのお正月番組をずーっと見ていたのですが、ある番組で昔あって今は見られなくなったものを、特集するコーナーがありました。その中の1つに「福笑い」というのがあって、皆さんは「福笑い」という遊びをしたことがありますか。お正月の定番の遊びとして昔、よくやっていたのを思い出して、懐かしく感じました。こういった昔の遊びには、お正月にする意味があって、「福笑い」は「笑う門には福来たる。」ということわざがその背景にあるのですね。「門（かど）」は「門」と書いて、「家」を表し、「笑顔がたくさんある家庭には、幸福が訪れる」という意味になるのです。

学校も同じかなと思っています。皆さんの笑顔があふれる学校にして、1年間楽しい学校生活を送れたらいいなー、と考えています。

さて、新年の幕開けに際し、皆さんに贈りたい言葉はこれです。「Boys, be ambitious！（少年よ、大志を抱け）」です。聞いたことがありますか。

この言葉は、明治時代の初めに札幌農学校に赴任したクラーク博士という先生が、学校を去るときに学生達に残した言葉で、ここには「江戸時代が終わり、一気に西洋の文明が入り、日本はこれからどうなるのか、混沌とした時代に、新しい日本をつくっていくのは高い志を抱いた君たち若者であるのだ。」という、メッセージが込められているのです。

ここ数年、情報化社会はさらに進歩を遂げ、インターネットやAIの発展によって、近い将来、現在の仕事の内、約半分が機械に取って代わられるとも言われています。ものが豊かになり、何でも機械がやってくれる世の中は、一見スマートで安定した生活に見えるけれど、人同士の関わりが薄れ、人として何を求めて生きていくのかわからない、むしろ混沌とした時代とも言えるのです。はたして、情報や知識を得るだけでいいのか、人間にしかできないことは何なのか。そしてそれはどうすれば手に入るのか。大変難しい問題です。

そこで、この言葉です。新年にあたり、ぜひ「志」を立ててください。将来自分は何をしたいのか、どんな社会に、どう役に立ちたいのか。何ができるかではなく、何をしたいかです。そしてその「志」に向かって学校で学ぶのです。大げさかもしれませんが、日本の未来、令和の時代を築いていくのは皆さんなのです。

今日から3年生は45日間、1、2年生は50日間の3学期がスタートしました。昨年も話しましたが、「1月は行く月、2月は逃げる月、3月は去る月」と表現されるように、とても速いスピードで過ぎていきます。そして4月には、ここにいる全員が新しい環境へ飛躍することになります。皆さん一人一人がそれぞれの新しいステージにおいて、自分の志に向かってしっかりと踏み出す1年になるよう、また、3学期がそのための十分な準備の学期になることを期待して、3学期始業式の式辞といたします。



風邪やインフルエンザにかからないよう、予防に努めましょう！

保健便りや学年便りでもお知らせしているところですが、これからピークを迎える風邪やインフルエンザの流行が、高郷中では抑えられるよう予防に努めていきましょう！